

2024 パラグライディングアキュラシー日本選手権規定

[変更点]

2. 参加資格は現状に即して、Jリーグと同等とする。
3. 使用機体は、大会がカテゴリー2となった場合は、FAI スポーティングコードに準じる必要があるので文言を追加する。
6. 参加選手選抜方法、8. 陪審員、10. 補欠募集も現状に即してJリーグに準ずる。

1. 日本選手権を開催しようとするものは、原則として日本選手権開催予定年の前々年の12月までに必要書類（開催要項および地図）を揃えて、その旨をJHFに提出しなければならない。その内容の検討はJHFパラグライダー競技委員会で行い、開催の決定は原則として開催予定年の前年の3月までの理事会において行うものとする。

2. 参加資格

日本選手権の参加資格は以下の4項目全てを満たすものとする。

- a) FAI カテゴリー2大会として開催される場合は、有効な日本のFAI スポーティングライセンスを所持するもの。
- b) 有効なJHFフライヤー登録をしているもの。
- c) JHFPGパイロット証以上を所持していること。~~シード選手またはJHF正会員の連盟から推薦されたその連盟の代表選手。~~
- d) 次のいずれかに該当する者。~~JHF正会員の連盟に所属しているもの。~~
 - ・シード選手
 - ・正会員代表
 - ・学生連盟枠
 - ・開催地元枠
 - ・女子優先枠
 - ・前年度PAJLランキング（オープンクラス）上位者
 - ・今年度PAJL登録者

オープン参加の海外から参加する外国人選手の参加資格は次のものとする。

- ・FAI カテゴリー2大会として開催される場合は、有効なFAI スポーティングライセンス（日本以外で発行されたもの）を所持していること。
- ・有効なJHFフライヤー登録証を所持していること。
- ・IPPI Card ParaPro 4以上を所持していること。
- ・CIVIL World Ranking（アキュラシー）にランキングがあること。

~~オープン参加の外国人も有効なJHFフライヤー登録をしていること、なおかつ適切なフライト技術を身につけているものに限る。~~

3. 使用機体は、「パラグライディング公認大会規則」に定められているものに準じる。~~ただしFAI カテゴリー2大会として開催される場合は、選手権の開催される期間において有効なFAI スポーティングコードS7Cに規定されているものに限るものとする。~~
4. 大会はジャパンリーグ大会とする。主催者はFAI カテゴリー2大会とすることが望ましい。ゼッケンは日本選手権独自のものが採用される場合がある。

5. シード選手は前年度日本選手権 10 位までおよび前年度アキュラシージャパンリーグランキング 10 位（スクラッチ）までのもの（重複があっても繰り下げはしない）とする。

6. 参加選手選抜方法

~~総予定エントリー人数からシード選手（前 5 項による）、正会員の資格を持った各都道府県枠 1 名、学生連盟枠 3 名、開催地元枠（正会員の資格を持った都道府県の場合に限り最大 2 名。ただし少なくとも 1 名は女子選手とする）および女子優先枠（総予定エントリー人数の 10%。ただしシード選手もこの枠に含めるものとし、日本選手権開催前年度のアキュラシージャパンリーグランキング（スクラッチ）上位から選出する）を差し引いた人数を日本選手権開催前年度のアキュラシージャパンリーグランキング（スクラッチ）上位から選出する。~~

総予定エントリー人数から下記の順番で選抜を実施する。

1) シード選手（前 5 項による）

2) 女子優先枠：総予定エントリー人数の 10%。ただし 1) の選手もこの枠に含めるものとし、日本選手権開催前年度の PAJL ランキング上位から選出する。

3) 正会員代表：正会員の資格を持った各都道府県代表 1 名

4) 学生連盟枠：3 名

5) 開催地元枠：正会員の資格を持った都道府県の場合に限り最大 2 名（当該都道府県連に所属しているもの。ただし少なくとも 1 名は女子選手とする）。

6) 残りの人数を日本選手権開催前年度の PAJL ランキング（オープンクラス）上位から選出する。

7) それでもエントリー枠に空きがある場合は、当年度 PAJL ランキング（オープンクラス）上位者等に解放する（選抜方法は**実行委員会等**に任せる）。

7. 大会の準備

プレ大会とも言うべき日本選手権と同規模の大会を予め開催し、経験を積んでおくこと。

8. 陪審員

大会開始前に 2 名以上の公式審判員からなる陪審員を設置すること。陪審員は抗議があった場合はこれを審議し、認否の決定を下す。この陪審員に関わる費用は JHF が負担するものとする。陪審員が設置されない場合は、JHF パラグライディング競技委員会が抗議に対する審議等を実施する。

9. 書類の提出

申請に必要な書類を日本選手権開催の三ヶ月前まで、あるいは大会がカテゴリー 2 の場合は、FAI カテゴリー 2 大会規定に定められた期日までに JHF パラグライダー競技委員会へ提出すること。

10. 補欠募集

主催者は予定エントリー人数に達するまで補欠募集をすることが出来る。その方法は~~前年度アキュラシージャパンリーグランキング（スクラッチ）上位者からとする。~~6 項に準ずる。

11. 成立条件

日本選手権が成立するためには、開催日程最終日（予備日を含む）まで競技を行った上で最低 3 本のラウンドが成立することが必要である。

12. 女子表彰

実際の女子参加人数が 5 名以上でなおかつ参加選手総数の 10% 以上であった場合、女子の 1 位を

女子日本選手権者とする。